

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

学びの自律化・個別最適化事業

事業の経過・背景・課題

- 個別最適な学びを実現するため、その子に合った方法で目標を達成できるような指導を行うことが求められている。児童生徒一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、教材や学習時間等の提供・設定を行う「学びの自律化・個別最適化」が必要だと考える。
- 南丹市の現状として、不登校児童生徒や特別な支援を要する児童生徒が増加傾向にある。多様な状況にある子ども達が、自らの学びを選択し、個別最適な学びを実現させていくことによって、学力を定着させていくことが重要となっている。

取組内容

交付実績額： 2,288 千円

- ・習熟度によって問題が選択できる学習に取り組めるよう、1人1台学習用タブレット端末にA Iドリル「すらら」を導入（経済産業省「探究的な学び支援補助金2023」を活用）
- ・1人1台学習用タブレット端末の活用頻度が増加するためネットワークの安定化が必要となるため、コンピュータやシステムに障害が発生した際に対応できる、予備の設備やサブシステムなどの平常時からの運用を実施



事業の成果・今後の展望等

- 自分のペースで学ぶことができ、採点結果から自分のつまづき箇所が明らかになるため、根本理解につながる復習学習を徹底することができた。また、A Iドリルを活用した個別最適化学習を日々の授業や学習に位置付けることで習慣化を図ることができた。
- A Iドリルの自動採点システムを使うことで、教職員の丸付け作業の負担が軽減され、教科別・観点別に自動集計されるため、集計ミスも防ぐことができ、採点時間を大幅に短縮することができた。
- 今後は、家庭へのタブレット端末の持ち帰りを推奨し、家庭学習でもA Iドリルに取り組めるようにすることに加えて、A Iドリルの効果的な活用方法を理解するための教職員研修を定期的実施する。3ヵ年での事業継続による成果踏まえ、令和8年度から保護者負担での運用を図る。

問い合わせ先

南丹市教育委員会学校教育課（0771-68-0055）